

# 七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校  
No. 45  
平成25年 7月15日

## 陸上部 7 名が 全国大会に出場

6月23日の陸上県大会の結果を受けて、26日に選考会が行われ、七ヶ宿校陸上部の生徒7名が、8月に東京の国立競技場で行われる、全国大会への出場が決まりました。



200M と 400M に出場する高橋里美さん

400M と 200M に出場する高野悠希君



円盤投げと砲丸投げに出場する山家史織さん

800M と 1500M に出場する八巻寿生君



円盤投げと砲丸投げに出場する山家直人君



400MH に出場する河村秀樹君



三段跳びに出場する大内海斗君

## 奉仕作業と七夕コンサート

7月7日(日), PTAと有志生徒, 職員による奉仕作業が行われました。その後, 関小の体育館をお借りして, 七夕コンサートを開催しました。協力くださった方々, 本当にありがとうございました。



刈り取った草を軽トラで運びます。



校舎内の窓拭きです。



七夕コンサート フルート&ピアノ



七夕コンサート バンド

## 《余白》副校長 音楽と数学

ギターとかヴァイオリンのような楽器を思い浮かべてください。基準になる弦の長さを1とします。弦の長さが  $\frac{4}{5}$  と  $\frac{2}{3}$  の弦を作って一緒に音を出すと, とてもきれいに聞こえます。『ドミソ和音』と言います。この弦の長さの分母と分子を入れ替えると, 1,  $\frac{5}{4}$ ,  $\frac{3}{2}$  となり, 比は  $4:5:6$  になります。同じように, 比を  $3:4:5$  にすると, 『ドファラ和音』になります。物理の言葉を使えば, 周波数の比が, 等差数列になるとき, 美しい和音になるのです。発見したのは, ピタゴラスであると言われています。

さて, 基準になる音をドとすると, ミとファとソとラの音が決まります。『シレソ和音』を使えば, ソの音からレとシが決まります。このようにして出来る音階を『純正律』と言います。しかし, 現在普通に使われている音階は違います。1オクターブを12等分して, ドレミファや中間にあるド#などを決めるのです。これを『平均律』と言います。なぜ, こうなったのかと言うと, 純正律では, 楽器の調を変えることが難しいからです。昔のフルートはシ♭が基準の音でしたから, #が付いた調の曲を演奏するのは大変でした。それに, 純正律では, 例えばド#とレ♭は別の音になってしまいます。ピアノの発展と共に, 平均律が用いられるようになりました。

本来の和音は純正律でこそ美しく聞こえるわけだから, 平均律ではほんのちょっぴりずれます。ところが, この『ずれ』が, 音楽の表現力を飛躍させました。ハ長調の曲は罪のない明るさを感じさせますし, ヘ長調の曲には『癒し』があります。モーツァルトの有名な『トルコ行進曲』は, 躍動感のある調であるイ長調で作曲されていますが, ヘ長調で演奏したら, ずいぶん雰囲気が変わるはずですよ。

人と人も, なかなか, しっくりぴったりとは行かないものです。多少ずれてる方が, 音楽と同じで, 味があると思うのですが・・・。